

令和8年度 学校経営方針

墨田区立文花中学校長 遠藤 博則

学校目標

『チーム文花中として、生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばし、社会に貢献できる生徒を育む学校』を目指す。

I 教育目標、育てたい生徒像、目指す学校像、目指す教師像

【教育目標】

21世紀を担う社会の一員として、自分の人生を切り拓いていける生徒の育成を目指し、次の目標を掲げる。

○豊かな心をそなえ、自ら学び・考え、健康で安全な生活を営み、たくましく生きる生徒

(1) 育てたい生徒像

- ① 人権を尊重し、自他を大切にする生徒
- ② 毎日の授業や家庭学習を大切にし、自立した学習者として自ら学び・考える生徒
- ③ 心身共に健康で、文武両道を目指し、何事にも粘り強く取り組む生徒
- ④ 国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒

(2) 目指す学校像

- ① 「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力や学ぶ力が身に付く学校
- ② ICT機器の効果的な活用とアナログのベストマッチによる学びを推進する学校
- ③ 人権を尊重し、夜間学級との交流など、多様な文化の理解を積極的に推進する学校
- ④ チーム文花中として、学校・家庭・地域が力を合わせ共に歩む学校

(3) 目指す教師像

- ① 生徒に対する教育的愛情と、教育に対する情熱・誇りをもち、協働できる教師
- ② 高い指導力をもち、生徒の生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばせる教師
- ③ 教育公務員として職責を自覚し、常に研鑽に励み、サービスの厳正を図ることができる教師

2 令和8年度の重点

(1) 「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力や学ぶ力が身に付く学習指導

- ① 「授業で勝負！」を合言葉に、綿密な授業・評価計画に基づき、主体的・対話的で深い学び（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実）を実現する。
- ② 毎日の授業・家庭学習を大切にさせ、毎回の授業（または家庭学習）でアウトプットさせ、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ③ ICT機器の効果的な活用とアナログのベストマッチによる学びを実現する。
- ④ 一人一人が活躍できる場を設け、認め励ます指導、「できた」という達成感を感じられる指導を通して、生徒の自己有用感及び自己肯定感を高める。
- ⑤ 特色ある学校づくり推進校としての研究、校内研修の充実、指導教諭の授業参観、授業観察期間、積極的な研修受講を通して授業力の向上を目指す。
- ⑥ 年2回の生徒の「授業アンケート」を活用し、授業改善を図る。

(2) 基本的な生活習慣の定着と豊かな人間関係を育成する生徒指導

- ① すべての教育活動を通して、偏見や差別をなくし、自他の生命、人権を尊重する教育を推進する。
- ② 教師が率先垂範し、挨拶や身だしなみ、時間や約束を守る指導を充実し、社会のマナー・ルールを理解・実践できる生徒を育成する。
- ③ 教員との教育相談や、スクールカウンセラーや外部相談機関との連携を通し、生徒一人一人の心のケアを図る。
- ④ 不登校を未然に防ぐために学校での心の居場所づくりを積極的に行う。不登校傾向の生徒へは、学年・生活指導部・SSR・SSW・大学生ボランティア・サポート学級・ステップ学級・フリースクール等と協働し、個に応じた支援を行う。
- ⑤ いじめ・問題行動へは、「平常心・共通理解・全員指導」をスローガンに、未然防止・見逃し0・即時対応・早期解決・経過観察を行う。

(3) 自主的な活動の促進と感動ある学校行事の創造

- ① 「人は環境で育つ。その環境は人がつくる。」というスローガンのもと、生徒会活動・学級活動・行事・部活動等で自主的な活動場面を設け、生徒自らが集団を改善する精神を育成する。
- ② 「運動会」「文花祭」をはじめとする学校行事の充実を図り、所属感、連帯感を育み、文中生としての誇りを持たせる。
- ③ 夜間学級の生徒との交流や国際交流で多様な文化を理解する教育の充実を図る。

(4) 保護者・地域に開かれた学校づくり

- ① 家庭・地域との連携を図り、信頼関係を深め、チーム文花中として生徒の成長を支え合い、共に成長を喜び合える学校を目指す。
- ② 保護者会・各種おたより・学校HP・すぐ〜る配信・地域掲示等で、学校の教育活動を保護者・地域に広報し、理解・協力を得る。
- ③ 「地域ふれあい祭り」等の地域・学校協力団体の行事等に協力する。
- ④ 地域にある2大学との連携を図り、学びに役立てる。
- ⑤ 国型コミュニティ・スクールとして、地域と協働し教育の充実を図る。
- ⑥ 「外部評価」・「保護者アンケート」を活用し学校教育の充実・改善を図る。